



大阪大学  
OSAKA UNIVERSITY



Vol.35  
2023年夏号

News  
Letter



おおきに健康

# 歯とお口から

大阪大学歯学部附属病院 広報誌



副病院長 鷓澤 成一

皆様、次第に暑くなりこれから夏本番という今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。約3年間にわたり社会や医療に多大な影響を与えてきた新型コロナウイルスにつきましても、5月8日より5類へ移行し、かつての日常が戻ってきたのを実感されている方も多いと思います。

最近のデジタル技術の発展は目覚ましいものがあります。歯科領域でも、従来、印象材を用いて行っていた型どり（印象採得）も口腔内カメラで行うことが多くなっております。その情報に基づき、機械が自動的にかぶせ物を作成したりすることも普通に行われるようになりました。私が専門としている口腔外科の領域でも、CTから三次元のモデルを3Dプリンターで作製したり、PCの画面上で手術のシミュレーションを行ったり、手術に用いる材料を作製することが、手術の安全性の向上や侵襲の低下につながっております。さらに、すでに本誌において紹介しておりますが、AIの機能を搭載したデンタルチェアへの開発にも力をいれております。このように、当院では、デジタル技術を用いて歯科治療の質と効率を向上させ、患者さんにとって、もっとも快適な治療環境を提供するよう努めております。

## 内面

- 特集 1.  
歯学部附属病院における  
歯科衛生士の仕事とは？
- 特集 2.  
視覚に障がいのある人も  
触ってわかる8倍大歯模型を  
全国に順次発送！

お口の相談コーナー  
お口のマメ知識

## 裏面

- 2023年4～6月の統計情報
- 病院概要



看護部 歯科衛生士主任 上村 奈都子

私達、大学病院に勤務する歯科衛生士の仕事をご存知でしょうか。今回はその仕事について紹介します。

歯科衛生士は、歯科医師の診療の補助に加え、患者様の歯磨きや歯石の除去など歯のクリーニングはもちろんのこと、歯科医師の指示のもと口の健康状態を評価します。そして口の異常や疾患の早期発見につなげています。また口の病気の予防にも重点を置いており、適切な歯の磨き方や補助器具などの使用方法を指導し、予防策を提案します。小さなお子様に対しては、フッ素の塗布やむし歯にならないように歯の溝を樹脂で埋める処置も行います。これらの業務は開業歯科医院に勤務する歯科衛生士と同じです。

一方、大学病院では、これらに加え食事指導や口の健康に対する喫煙・飲酒の影響についても患者様にアドバイスし、生活習慣の改善を促すなど、患者様の健康増進・維持に幅広く関わっています。さらに口腔外科の外来や病棟では、手術を受ける患者様の術前から術後において、入院・手術・回復からなる一連の時期に口腔ケア（周術期口腔機能管理）を実施しています。手術を受けるに当たって口の内側が不潔だと、手術部位の感染や術後の肺炎など、多くの合併症が生じやすくなり、術後の回復や入院期間にも大きく影響します。そのため、歯科衛生士は、手術前から入院患者さんの口腔ケアを実施します。そして歯科医師や看護師はもちろんのこと、薬剤師や栄養士等を含めた多職種との医療スタッフが緊密に連携し、チーム全

体で手術の成功と迅速な術後の回復を支援します。

また、当院では、大学病院ならではの環境を生かし、歯科衛生士の業務の質の向上のため、院内での研究会や学会参加などを通じて、研究活動や教育にも積極的に取り組んでいます。

現在、日本歯周病学会、摂食嚥下リハビリテーション学会、日本口腔インプラント学会等の認定する「学会認定歯科衛生士」の資格を持った歯科衛生士が勤務しています。歯科の特定分野での専門的知識と技術を生かし、患者様と社会のニーズに合わせた観点から患者様の口の健康を維持できるよう努めており、多くの歯科衛生士が専門性を身につけるべく、キャリアアップを目指しています。

私達、歯科衛生士は、患者様とのコミュニケーションを大切にしています。質問や疑問に答え、緊張や不安を感じている患者様に対しても適切なサポートと安心感を提供できるよう心掛けており、歯科医師には、直接聞きにくいことでも歯科衛生士には気軽に聞けるような関係を目指しています。そのため「歯科衛生士連絡会」を開催し、チームで問題や課題について話し合い、メンバーが共通の認識を持ち、目標に向かって業務を進めることで、患者様へ良質なケアを提供できると考えています。

このように、私達、大学病院勤務の歯科衛生士は多岐にわたる業務を担っています。口の健康や口腔ケアに関してお困りの事がありましたら、どうぞお気軽にご相談下さい。



障害者歯科治療部 講師 村上 旬平

■ クラウドファンディングへのご協力、ありがとうございました

大阪大学大学院歯学研究科・歯学部附属病院・歯学部附属歯科技工士学校では、視覚に障がいのある人も「触ってわかる歯の模型（磁石による可動式・8倍大）」を開発してきました。この模型を全国に約70校ある「盲学校」と29の歯科大学・歯学部附属病院の「障害者歯科診療室」へ配布したいと考え、その資金を集めるために今から約1年半前の2021年11月8日（いい歯の日）～12月24日にかけて、「大阪大学クラウドファンディング」を実施しました。その結果、多くの皆様から計1,000万円以上のご支援を頂戴しました。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

■ 100セットの歯模型を全国の盲学校と歯科大学・歯学部附属病院に発送開始！

その後、ご支援いただいた資金を使って、大阪大学内の「科学機器リノベーション・工作支援センター」と、歯学研究科・歯学部附属病院と「歯工連携協定」を締結している東大阪市の企業に協力をお願いし、模型の改良と製作を行ってしました。そして本年3月に無事、「大人用（永久歯列）・子ども用（乳歯列）・はえかけの大人の歯（半萌出永久歯）」を1セットにして、100セットの歯模型が完成しました。盲学校では児童・生徒のみならずへの健康教育に、歯科大学・歯学部附属病院の診療室では視覚障がいのある人への説明や歯みがき指導などにお使いいただく予

定です。また、一般の歯科医院に「歯模型」を貸し出すなどさまざまな使い方も想定しています。

■ 盲学校で実際に使っていただきました

模型をお届けした盲学校で実際に模型を触った児童・生徒さんからは、「歯の形がわかりやすい」「触ってすぐに『奥歯』『前歯]がわかる」「歯の形の違いがよくわかった」「子どもの歯と大人の歯の違いや本数の違いがわかった」といった感想をいただきました。さらに盲学校の先生方からは「全盲の児童が自分の歯並びに並べ替えていた」「指導に生かしやすい教材である」「歯の大まかな構造が触ってわかる」「歯それぞれの形の違いがわかるのが良い」「磁石での接着がしっかりしているので落ちにくく、安心して触れる」「磁石の接着面が広いので個人の歯並びに合わせることができ、自分の歯並びが確認しやすい」などの感想をいただきました。この学校では6月に歯模型を使って、小学部で歯の保健指導を行う予定だそうです。

■ 今後も「歯の情報」へのアクセス改善に貢献していきます

視覚に障がいのある方々がこの模型を介して「歯の情報」にアクセスし、歯や歯の健康への関心を深めて、生涯歯を大切にしていきたいと考えています。また今後、この模型を用いて視覚障がいのある人を対象としたイベントを企画するなど、「各人に最も適した歯磨きの方法」を誰一人残らず習得していただけるよう貢献したいと考えています。



「いつもお口をポカンと開けています。なんとかなりませんか？」

障害者歯科治療部 准教授 秋山 茂久

お口の相談コーナー



話す、食べる、飲み込むなど口の機能が発達していない場合を「口腔機能発達不全症（こうくうきのうはったつふぜんしょう）」とよびます。日ごろから「お口ぼかん」の状態は口唇閉鎖不全症（こうしんへいさふぜんしょう）といいます。唇周りの筋肉がゆるい状態にあります。唇周りの筋肉は、口の周りを囲むようにあるので口輪筋（こうりんきん）とよばれ、表情筋など顔全体の筋肉の動きと連動することで表情も豊かにしてくれます。

「お口ぼかん」になると、口呼吸によりいびきや口の乾燥によるむし歯や歯肉炎、また無防備にウイルスな

どを吸い込み、感染症やアレルギーの原因にもなります。「お口ぼかん」を防ぐためには、年齢相応のおしゃべり、遊び、食事が重要です。お友達との遊びでうまくしゃべれなかったり、軟らかい食事で噛む回数が少なかったりしたことで口輪筋のトレーニングができなかったと考えられます。風船を膨らませたり、最近は見かけなくなりましたが、「吹き戻し」などのおもちゃで遊んだりすることでトレーニングになっていました。

「お口ぼかん」はお子様だけにみられるだけでなく、このコラムでも何度かご紹介している高齢者での

さまざまな筋機能の低下に起因する「オーラルフレイル（口の衰え）」や「口腔機能不全症（こうくうきのうふぜんしょう）」でもみられます。食べこぼしやむせ、滑舌の悪さなどはその症状の一つです。

当院では口の機能に関連した症状を検査し、年齢や原因に応じて、さまざまな機器やトレーニング方法を紹介できますので、お気軽にご相談ください。



お口のマメ知識



歯ってどのくらい硬いか知ってますか？

口腔総合診療部 助教 三浦 治郎

フランスパン、カシューナッツ、金平糖、芋けんぴ…どれも歯ごたえのしっかりとした硬い食べ物ですが、日々の生活でこれらの食物をかみ砕く仕事をしている「歯」はどのくらい硬いかをご存知でしょうか？地球上で最も硬いダイヤモンドの硬さを「10」とし相対的な硬さを10段階で示すモース硬度によると、歯の表面を構成するエナメル質（写真参考）は石英と同じ「7」を示します。石英は、ガラスや鋼鉄にキズを入れることが出来る硬さであることから、エナメル質は文字通り「鋼よりも硬い！」ということになります。当然人体の中で最も硬い組織で、歯

を外部からの刺激や咬む力から保護する重要な役割をしています。その鋼よりも硬いエナメル質も長い間生活を共にするとすり減ったり、割れたり、むし歯で穴が開いたり様々なるトラブルに見舞われます。なかには、不適切な歯ブラシの使用による表面の摩耗や、酸性の強い食品を多く摂取することにより歯が溶けたりする場合もあり、硬いからといってメンテナンスが不要なわけではありません。中には、遺伝的にエナメル質の形成が不十分な場合もあり、そういった方は若い頃からむし歯になりやすい体質になります。歯磨きをしているつもりでも気が

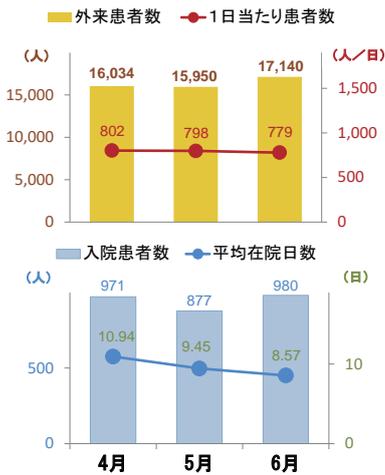
つかないうちにむし歯は広がり歯科検診で指摘されることが多くなったりします。自分ではもしかして？と思われる方は担当医にご相談いただければと思います。



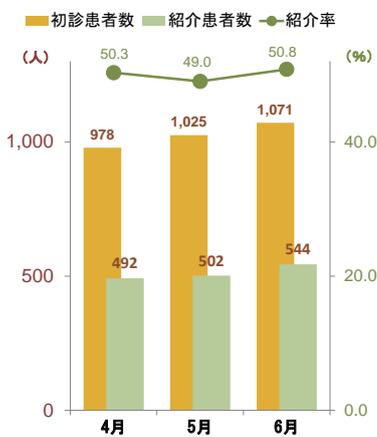
(写真)左:歯(前歯)の断面、右:拡大図

# 4月～6月患者数等統計

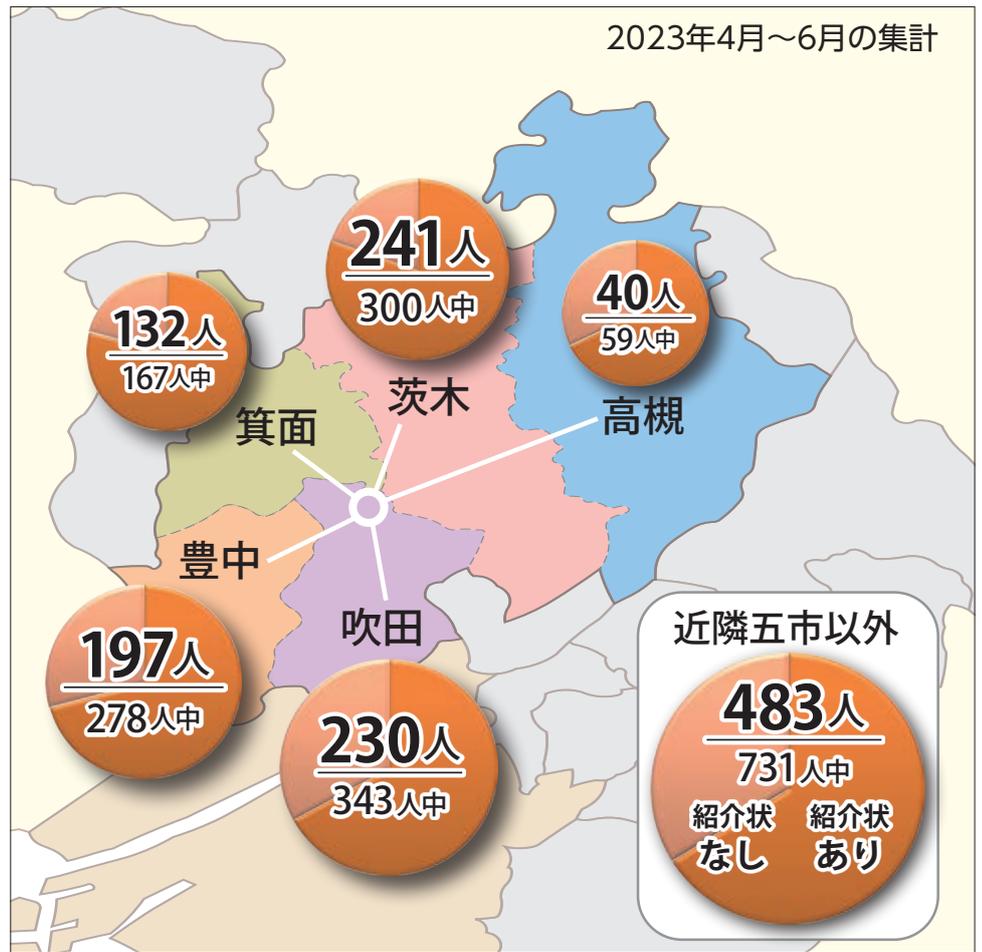
## 外来患者数・入院患者数



## 初診患者数と紹介患者数比率



## 近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



## 病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）  
【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

### 診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等



電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話（06-6879-2848）のうえ、お越しく下さい。

入院患者様へのご面会は新型コロナウイルス感染対策の観点から当分の間、原則禁止とさせていただきます。

## 病院へのアクセス



歯学部附属病院にお車でお越しの際は、西門（歯学部部門）よりお越しく下さい。

## 看護師・歯科衛生士募集中！

—お問合せ—

歯学研究科総務課人事係  
06-6879-2834 まで